

北部機械金属業界の景況動向

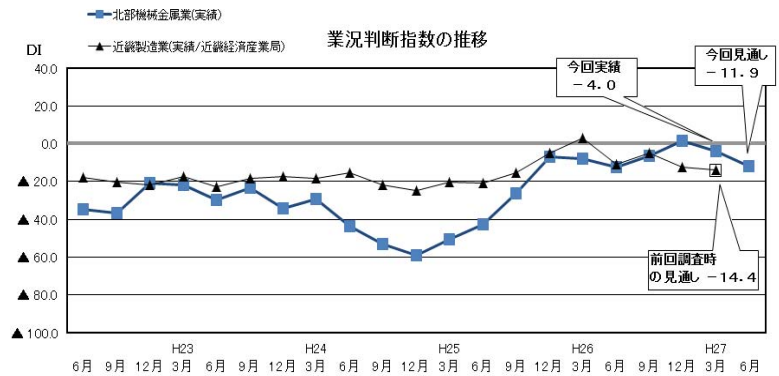
(2015年1~3月実績/2015年4~6月見通し)

- 調査対象：綾部市以北5市2町の機械金属関係企業185社 【調査時点 平成27年3月下旬】
- 回答数：126社（回答率68.1%、内訳は以下のとおり。）
 - ①市町別 = 福知山市:26、舞鶴市:20、綾部市:22、宮津市・与謝郡:8、京丹後市:50
 - ②取扱別 = 一般機械:49、電気機械:13、輸送機械:33、精密機械:14、その他:17
 - (区分) 一般機械…工作機械、産業機械部品等 電気機械…家電部品、電子部品等
 - 輸送機械…自動車部品、船舶等 精密機械…半導体・液晶関連、精密機械部品等
 - ③従業員数別 = 1~9人:34、10~19人:28、20~49人:39、50~99人:12、100人以上:13
- ※アンケート調査の他に一部企業の訪問調査を実施 【調査機関：公益財団法人京都産業21北部支援センター】

— 調査結果 —

1 景況動向判断

●1~3月実績のDI(業況判断指数)は-4.0となり、10~12月期(以下「前回」)より5.6ポイント後退した(前回1.6)。福知山市域は-3.8(前回19.2)、舞鶴市域は0.0(前回-9.5)、綾部市域は-18.2(前回-16.7)、宮津市・与謝郡域は-37.5(前回-20.0)、京丹後市域は6.0(前回8.0)であった。このように、舞鶴市域以外の地域でDIが落ち込む結果となった。



注：DI = (非常に良い+良い) - (非常に悪い+悪い)

●4~6月見通しのDIは-11.9と、前回より2.5ポイント改善した。(前回-14.4)。地域別に見ると、福知山市域は-11.6(前回0.0)、舞鶴市域は-25.0(前回-19.0)、綾部市域は-27.3(前回-44.4)、宮津市・与謝郡域は-37.5(前回-40.0)、京丹後市域は4.0(前回-4.0)であった。このように福知山市域と舞鶴市域で前回と比べて厳しい見通しとなっている。

景況動向判断 1~3月実績

地域	非常に良い	良い	普通	悪い	非常に悪い
全体	2.4	19.8	51.6	21.4	4.8
福知山市	23.1	50.0	23.1	3.8	3.8
舞鶴市	5.0	10.0	70.0	10.0	5.0
綾部市	13.6	54.6	31.8		
宮津・与謝	12.5	37.5	37.5	12.5	
京丹後市	4.0	26.0	46.0	18.0	6.0

景況動向判断 4~6月見通し

地域	非常に良い	良い	普通	悪い	非常に悪い
全体	0.8	15.1	56.3	24.6	3.2
福知山市	3.8	7.7	65.4	23.1	
舞鶴市	5.0	65.0	25.0	5.0	
綾部市	9.1	54.5	36.4		
宮津・与謝	12.5	37.5	50.0		
京丹後市	26.0	52.0	16.0	6.0	

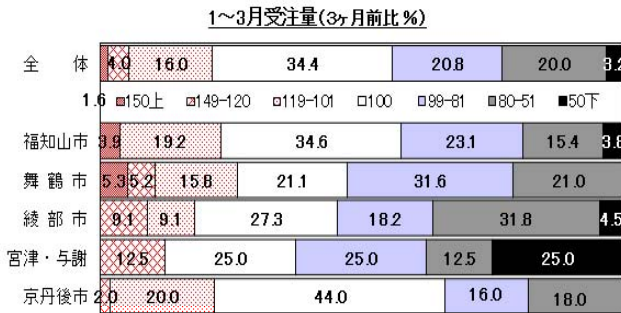
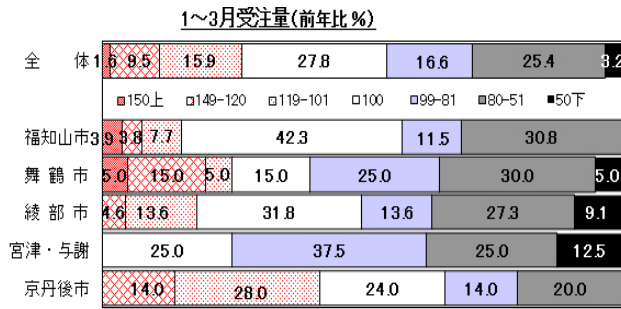
2 採算状況

●1~3月の採算状況は、全体では、赤字とする企業が15.3%(前回18.4%)と3.1ポイント好転した。地域別では、宮津・与謝郡域は赤字とする企業が黒字とする企業を上回っており、前回同様、厳しい状況が続いている。その他の地域では黒字とする企業が増加している。

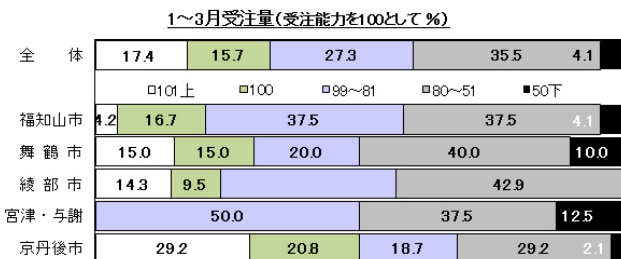
1~3月採算状況

地域	黒字	ロント	赤字
全体	29.9	54.8	15.3
福知山市	42.3	42.3	15.4
舞鶴市	21.1	68.4	10.5
綾部市	22.7	54.6	22.7
宮津・与謝	12.5	62.5	25.0
京丹後市	32.7	55.1	12.2

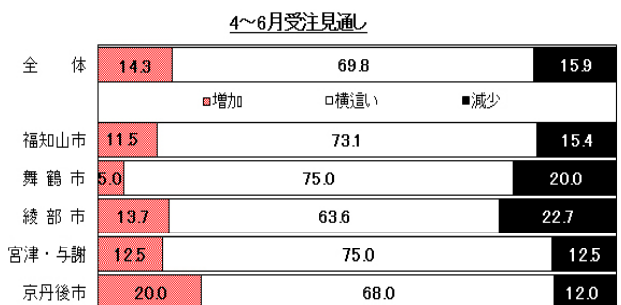
3 受注量



- 1~3月の受注量は、対前年同期比100%以上を確保した企業は54.8%（前回65.9%）と11.1ポイント減少した。対3か月前比100%以上を確保した企業は56.0%（前回63.4%）と7.4ポイント減少した。すべての地域において、3か月前比100%以上の受注が減少した。



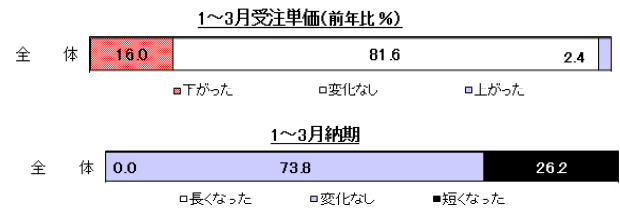
- 1~3月の受注量（稼働割合）は、100%以上とした企業は33.1%（前回45.9%）と12.8ポイント減少した。全ての地域で5割以上の企業が受注能力100%以上の仕事を確保していない。宮津・与謝郡域については皆無である。



- 4~6月の受注見通し（左下図）は、増加を見込む企業の割合は14.3%（前回8.2%）と6.1ポイント増加し、減少を見込む企業の割合は15.9%（前回21.3%）と5.4ポイント減少した。

4 受注条件（受注単価／納期）

- 受注単価が上がったとする企業は2.4%（前回2.4%）と横ばいで、受注単価が下がったとする企業は16.0%（前回10.6%）と、5.4ポイント増加した。また、納期が短くなったとする企業は26.2%（前回39.5%）と13.3ポイント減少した。

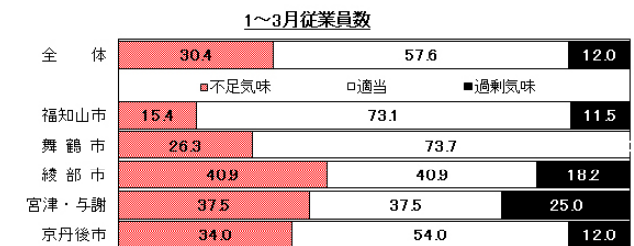


5 資金繰り



- 資金繰りは、悪化とした企業が10.5%（前回12.9%）と前回より2.4ポイント好転した。綾部市域、宮津・与謝郡域では好転とした企業は皆無であった。

6 従業員数



- 従業員数は、不足気味が30.4%（前回29.6%）、過剰気味が12.0%（前回10.4%）となった。特に、綾部市域では40.9%（前回16.7%）と不足気味の企業が増えている。全地域において、不足気味とする企業が過剰気味とする企業を上回っており、人手不足の状況が慢性化している。